



立体的でわかりやすい 3Dサーフェス測設！

手元でリアルタイムに現在位置を把握でき、速く・簡単な位置出しを実現

北海道の村井小泉建設株式会社様は、公共工事が主体の建設会社。道路や橋梁、農地などの施工を数多く手掛け、なかでも農業土木の受注が多い。今回、畑の造成に土木向けフィールドソフトウェア『監督さん 3D プロ』を導入し、GNSS を用いた工事測量に活用されたとのこと。現場を統括する土木部 次長 円館 敬一様と、実際に現場で使われている土木部 増山 知孝様にお話を伺った。

『監督さん 3D プロ』を導入された経緯をお聞かせください。

GNSS 受信機『GRX3』の導入を機に、3D データに対応した最新ソフトウェアとして『監督さん 3D プロ』の紹介をいただき、使い勝手の良さが決め手で導入しました。土木部 次長 円館敬一様
これまで使い慣れていたソフトウェアとは操作性が異なるので一から習得する必要がありましたが、普段よく使う機能から覚えながら活用しています。監督さん 3D プロは機能が充実している分、まだ使いこなせていない機能もあるので、今後まだまだ活用の幅が広がると考えています。



『監督さん 3D プロ』を使用した作業としては、施工面の出来形チェックや、明渠の丁張り設置などに活用しています。他にも畑の表面を剥がした土量や搬出の排礫量の計測にも役立っています。



土木部 増山知孝様

よく使う機能は、座標測設、路線測設、サーフェスですが、なかでも便利なのは“サーフェス”による測設です。設計データを取り込み、3D のマップビューでビジュアル的に位置関係や勾配の向きが把握しやすくなった点で作業性が向上しました。これまで使用していたソフトウェアに比べると、やはり 3D データを活かして立体的にわかる点が良いですね。



GNSS を活用した使用感はいかがですか

『監督さん 3D プロ』を使ってみて、以前よりも初期化スピードが断然速くなり、FIX の安定性も

高まったと感じています。また、一人で計測ができるため、丁張りを設置する際に、“一人でパパッと位置出しして、後から高さだけスッと出せる”ので作業効率が大幅にアップしています。今回の現場は畑で上空も開けていて、かつ面積も広いので GNSS を使うのが効果的です。手元の画面でリアルタイムに把握できることで、テンポよく作業を進めることができます。

今後のビジョンについてお聞かせください

監督さん 3D プロでの作業は遠隔現場も実現できるので、これまでに一度試行したことはあるのですが、今後発注者との協議が折り合えば取り入れていきたいと考えています。また、当社は杭ナビや自動追尾トータルステーションも所有していますので、現場の状況に応じて『監督さん 3D プロ』をフル活用したいですね。

ユーザー名 : 村井小泉建設株式会社
URL : <https://mk-constr.com/>
使用機種 : 土木向けフィールドソフトウェア『監督さん 3D プロ』
GNSS 受信機『GRX3』
取材協力 : 太陽興産株式会社

『監督さん 3D』
詳しい情報は

